

7 三重県立看護大学 看護学部 看護学科合格／27回生 2008年(平成19年度)卒

受験を終えて今思うことは、南高校の先生方に出会えて本当に良かったということです。先生方は、勉強、進路のことだけでなく、体調までも心配して下さり本当に温かかったです。

さて、私の受験について紹介します。特に部活を頑張りたい人と看護系志望の人へ…。

まず、部活を頑張りたい人へ…。

私は吹奏楽部に所属していたため、部活を引退したのは7月の終わりでした。7月の補習はほとんど欠席。みんなはもう本格的に勉強していて本当に焦りました。でも、大丈夫です。部活は一人ではありません。部活の友達と勉強し、顧問の先生に励まされ、頑張りました。確かに早い時期から受験勉強を始めるることは大切です。でも、遅れたからダメになるということではありません。悔いの残らないように部活を頑張って下さい。

次に、看護系志望の人へ…。

看護系には、文系、理系の区別はない上に、他の系統とは試験内容が違うので戸惑うことも多いと思います。そういうときは、先生を頼って下さい。先生方は、本当に親身に教えてくれます。

看護系の試験は、学力試験+面接、面接+小論文など色々です。共通して言えることは、看護に興味を持つことが大切です。面接、小論文では、医療や社会のニュースについて聞かれます。勉強にばかり目がいってしまうかもしれないけど、ニュース1本見る、新聞を少し読むなどして、自分の意見を持って下さい。私は新聞の切り抜きをノートに貼り、わからないことはインターネットで調べたりしていました。国公立の受験ではそれが特に役に立ったのだと思います。ぜひ、頑張って下さい。

最後に、すべての受験生のみなさんへ…。

私の勉強法は、一言で言えば”繰り返し”です。悲しくも、人は覚えたことを忘れます。何度も…とにかく繰り返し。私は苦手の化学はセンターの過去問を3回まわりやりました。本番では、化学は得意の数学より良かったです。何冊もの参考書をやるよりも、1冊の繰り返し。私は、それが自分に合っていたと思います。何よりも自分に合った勉強法が大切です。いろんな人のやり方を真似したりして見つけられると良いと思います。

受験は本当にツライときもあるし、早く終わってほしいと思うときもあります。でも、受験生活は充実していて、学校が楽しくなったりするので、ツライことばかりではありません。ぜひ、頑張って下さい。